



## 作業学習をとおして学ぶこと

校長 村山 孝

本校の作業学習は「エコワーク」「クラフト」「農園芸」「食品加工」「ビジネスチャレンジ（清掃・事務補助・喫茶接客）」があり、1週間の授業の中で、多くの時間を設定し生徒の皆さんは様々なことを学んでいます。作業学習は、作業する内容の技術の向上を目指すことも大切ですが「働く意欲を培いながら、将来の職業生活や社会自立に向けて基盤となる資質や能力を育むこと」がとても重要になります。

本校の喫茶・接客班は「ハッピーカフェ」を店舗とし、店内の来客者の接客の他に、校内のデリバリーも行っています。外部専門員の先生を招き、専門的な接客について学び、生徒の皆さんはコーヒーなどの飲み物の販売をとおして、「気持ち良い挨拶や返事をする」「身なりを整え、清潔にすること」「状況に応じて、接客すること」など様々なことを学んでいます。

現在の喫茶・接客班では、主に本校の教職員が来客者等となって行っていますが、生徒の皆さんにとっては教職員であっても「お客さん」です。接客を行うためには、接客に必要な細かく、たくさんの作法や言葉などを覚えて、接客しなくてはなりません。緊張してしまうようにできないこともあります。しかし、生徒の皆さんは努力を重ね、たくさんの作業の工程を理解し、接客を進めている姿があります。うまくいかなかったときには、反省して成功するように努力しています。成功したときの生徒の皆さんの姿は、とても輝いて見えます。

今後も、全ての作業学習において、生徒の皆さんが輝いて学習できることを目指していきたいと考えています。保護者の皆様も本校の作業学習について、御理解、御協力を何卒よろしくお願いいたします。

### 大きな地震など災害に備えて（登下校時の対応例）

以下が本校の「入学のしおり」を踏まえた**対応例**です。大きな地震が発生した場合は、街の建物、公共交通機関、道路状況、東京都や政府の方針など、現時点では判断できない部分が多々あります。今回の対応は保護者の皆様や、一人通学の生徒の皆さんに**連絡ができることを前提にした対応例**です。大きな地震等災害があったときには、状況に応じて各御家庭等での判断も必要になると思います。本校での対応は、臨機応変かつ適切な判断となることを踏まえ進めてまいります。何卒御理解のほど、よろしくお願いいたします。

#### **対応例：スクールバス（大地震が発生し、運行が困難な場合）**

- (1) スクールバス乗務員は、バスを安全な場所に停車し、生徒の安全を確保できる行動をとる。同乗務員は、学校に状況を連絡し、できる限り災害の状況を把握し、生徒の安全を守る。
- (2) 学校はスクールバスに乗車している生徒の全保護者に連絡を行う。学校（教職員）は災害の状況を確認し、スクールバス停車場所へ急行する。
- (3) 保護者は学校の連絡を受け、安全が確保できれば、スクールバス停車場所に向かう。
- (4) 学校（教職員）はバス停車場所で保護者を待ち、生徒、保護者とともに避難行動を取る。教職員が遅れる場合、同乗務員は学校と連絡を取り、保護者とともに対応策を考える。
- (5) 学校付近でスクールバスを停車させた場合、学校（教職員）はスクールバス停車場所へ急行するとともに保護者に連絡する。教職員は安全を確認し、生徒とともに学校に向かって移動する。保護者は安全の確認に行き、学校へ向かう。

### 対応例：一人通学（大地震が発生し、通学が困難な状況の場合）

- (1) 生徒は安全が確保できるまで、安全な場所で待機する。学校は生徒及び保護者に連絡し、状況を確認する。  
※生徒は自宅等保護者に連絡ができれば連絡する。学校は生徒の状況に応じて、保護者にも連絡する。また、学校は定期的に待機している生徒に連絡する。
- (2) 保護者は GPS を活用し、生徒の待機場所を確認する。また、保護者は生徒の待機場所が把握できたら、学校に連絡する。  
※保護者の皆様にはお子さんの居場所が分かるように、GPS の設定等をお願いします。
- (3) 学校は学校周辺等を巡回するとともに、生徒の通学状況を確認する。同時に保護者に連絡する。
- (4) 学校は生徒の待機の状況に応じて、生徒の待機場所に急行し、避難行動を取る。
- (5) 生徒は学校から移動が可能であるとの連絡を受けたら、安全を確認しながら、学校又は自宅に向かって移動する。移動可能の判断基準は、公共交通機関の運転再開や、保護者と学校が協議し、安全を確認できたときなどとする。

## <進路指導部より>

### ○第4回保護者向け進路学習会について

10月9日（水）に「第4回保護者向け進路学習会」を実施いたします。  
御参加される場合は、名札と上履きを御持参ください。

日時	令和6年10月9日（水）	午後1時30時から午後3時00分まで
場所	本校	体育館
内容	「卒業後の生活に向けて～相談支援事業に聞いてみよう～」 ・福祉サービスの内容と相談支援事業所の役割 ・事例 等	
講師	森川 治彦 氏（特定非営利活動法人こげら会 相談支援事業所ポラリス所長）	

### ○事業所情報

年度当初に事業所の閉所についてお知らせいたしましたが、その後、事業を継続することが分かりました。見学や実習希望がございましたら、担任や進路担当までお問い合わせください。

「特定非営利活動法人和福祉会 ワークセンターあい（B型）/手作り工房みらい（B型）」

### ○就業体験・実習期間中・通勤練習時の連絡手段について

進路指導にて、校外で生徒が一人で活動をする際、連絡の取り方や公衆電話の使い方を御家庭でもあらかじめ御指導ください。

「交通系 IC カードのチャージが切れてしまった」「電車を間違えてしまった」などの理由により居場所が分からなくなったり、予定されていた時間に帰宅できなかったりといった事が時折見られます。

生徒にとって安心・安全な進路指導のためにも、御協力よろしくお願いたします。

## <支援部より>

### ○都立田無高等学校文化祭への参加

9月13日（金）都立田無高等学校文化祭の舞台発表に、本校3年生0類生徒が和太鼓演奏で参加しました。近年、新型コロナウイルス感染症の影響で参加が滞っていましたが、今年度また実施することができました。

舞台発表と合わせて、本校生徒の美術作品の展示も行いました。こちらは、例年実施しております。

今後も、地域との交流を深めていきたいと思っております。

